

電気温水器

ユノエース

取扱説明書

ご愛用の皆さまへ

このたびはユノエース電気温水器をお買いあげいただきありがとうございます。
この製品の機能を十分に発揮させ、また安全に正しくご利用いただくため、ご使用前にこの取扱説明書をお読みにになり十分に理解した上で、正しくご使用ください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに大切に保管してください。
お客さまご自身では据付けないでください。安全や機能の確保ができません。
施工説明書のとおり据付工事がおこなわれているか、同封のチェックリストを活用して確認してください。

型 名			型 式
マイコン型 (通電制御型)	リモコンレスタイプ	屋内型	SN2-159KML SN2-209KML
マイコンレスタイプ	8時間湯沸しタイプ	屋内型	SN2-157K SN2-207K

もくじ

● 安全上のご注意	1	● 沸き増し設定のしかた	14
● 各部のなまえとはたらき		● バックライト点灯のしかた	15
● 本体外観図・点検窓内部	5	● 故障表示	16
● マイコンレスタイプ構造	6	● 操作部の使い方（リモコンレスタイプ）	
● マイコン型リモコンレスタイプ構造	7	● 湯温切替えスイッチの使い方	17
● リモコンの操作部（別売品）	8	● 凍結防止対策について	17
● 使用前の準備		● こんなときは	
● 温水器への給水	9	● 長期間お使いにならないとき	18
● ご使用のしかた		● 短期間お使いにならないとき	18
● 温水器への通電	10	● 日常のお手入れと点検	19
● お湯のご使用、お湯の上手な使い方	10	● 故障かな？と思ったら	21
● 操作部の使い方（リモコン操作タイプ）		● アフターサービス	22
● 時計を合わせる	11	● 仕様	24
● 沸き上げ設定のしかた	12		
● 運転を休止する	13		



マイコン型リモコンレスタイプはリモコン（別売品）を取付けることにより、時間帯別電灯契約等（同一計量）でご使用できます。時間帯別電灯契約等（深夜電力B契約以外）でご使用の場合は、リモコンを必ず取付けてください。リモコンを取付けていないと正常に沸き上げを行いません。

電気料金メニューは、ご契約している電力会社や地域によって異なります。販売店（工事店）とご相談のうえ、ご契約している電力会社へお問い合わせください。

安全上のご注意

〈安全に正しくお使いいただくために〉

◎ここに示した注意事項は、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。






表示	表示の意味
 警告	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（※1）を負うことが想定されること”を示します。
 注意	“取り扱いを誤った場合、使用者が傷害（※2）を負うことが想定されるか、または物的損害（※3）の発生が想定されること”を示します。

※1 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

※2 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。

※3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

◎本文中で使われる図記号の意味は次のとおりです。

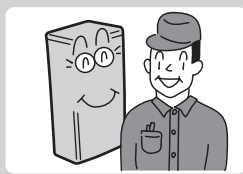
図記号	図記号の意味	図記号	図記号の意味	図記号	図記号の意味
	禁止		アース工事実施		やけど注意
	指示に従う		分解禁止		

据付時・移設時・修理時のご注意

警告



- 据え付けや機器を移設される時は販売店または工事に依頼する。
ご自分で据付工事をされ不備があると、火災・感電・水漏れの原因になります。



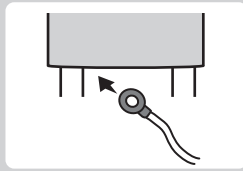
禁止

- 可燃性ガスや引火物の近くに設置しない。
発火や火災になることがあります。



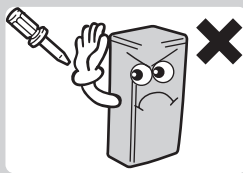
アース工事

- アース工事を確認する。
アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。工事に不備があると、故障や漏電のとき感電の原因になります。



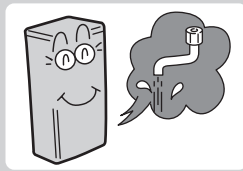
禁止

- ご自分での修理・改造や再設置は行わない。
感電したり、異常動作してけがをすることがあります。



上水道

- 水道水を使用する。（温泉水・井戸水は使用不可）
水道水を使用しないと、故障や水漏れの原因になります。



安全上のご注意

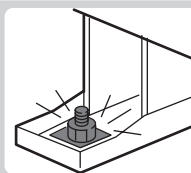
据付時・移設時・修理時のご注意

注意



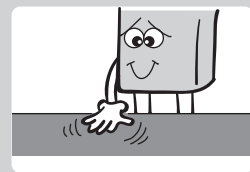
確認

- 脚部がアンカーボルトで固定されているか確認する。
台風や地震のとき、製品が倒れてけがをすることがあります。
- 2階以上に据付ける場合は、上部固定金具で本体が固定されているか確認する。



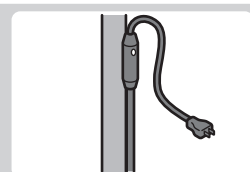
確認

- 床面が防水・排水処理をしていない床面に設置しない。
水漏れが起きたとき、大きな被害の原因になります。



確認

- 配管の凍結防止対策を確認する。
凍結すると機器が破損したり配管が破裂し、やけどや水漏れをすることがあります。



禁止

- 屋外や冠水するところには設置しない。
本製品は屋内用です。雨に濡れたり、冠水すると漏電や感電することがあります。

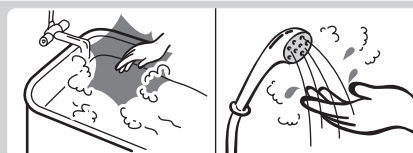


警告



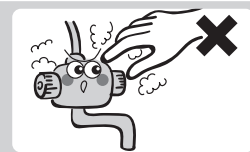
確認

- 入浴するときやシャワー使用時は、湯温を確かめる。
- お湯を使う前には、湯温を確認する。
やけどをすることがあります。



やけど注意

- 給湯時は湯水混合栓本体に手を触れない。
やけどをすることがあります。



やけど注意

- 排水時にはお湯や排水配管に手を触れない。
やけどをすることがあります。



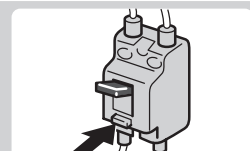
やけど注意

- 逃し弁点検時は配管に手を触れない。
やけどをすることがあります。



動作確認

- 漏電遮断器の動作を確認する。
故障のまま使用すると、感電することがあります。



安全上のご注意

使用時のご注意



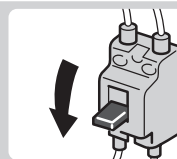
警告

告



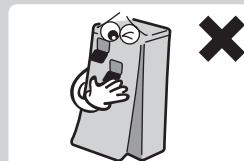
確認

- 異常時は漏電遮断器の電源スイッチを下げ、電源を切る。異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。



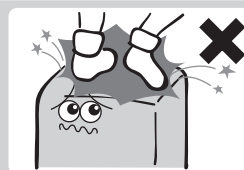
禁止

- 取りはずす指定のないカバーは取りはずさない。高温部によるやけどや感電することがあります。



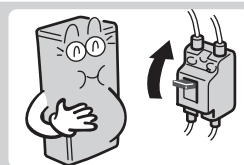
禁止

- 製品の上に乗ったり、配管に力を加えない。機器が転倒したり、配管が破損して、死亡または重傷事故（大けが・大やけど等）に至ることがあります。特に幼児に注意してください。



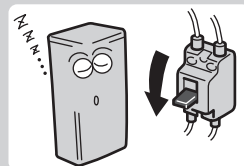
満水確認

- タンクを満水にしてから電源を入れる。満水にしないで電源を入れると故障の原因になります。



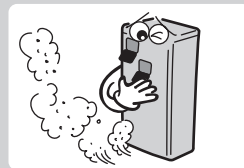
電源確認

- 1ヵ月以上使用しないときは、電源を「OFF」にしてタンク内の水を排水をする。排水をしないと、水質が劣化することがあります。また冬期は凍結して機器が破損することがあります。



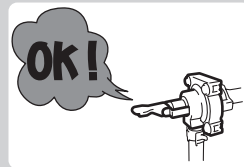
カバーは閉

- 点検窓は閉じる。開けておくと雨水やゴミが入り、漏電や感電することがあります。



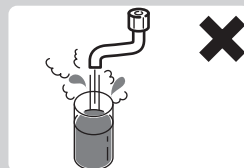
点検

- 逃し弁の点検をする。点検しないとタンクや配管が破損したり、逃し弁から水漏れしたりすることがあります。



禁止

- そのまま飲用に用いない。長期間のご使用により、タンク内に水アカがたまったり、配管材料の劣化により、水質が変わることがあります。飲用される場合は次の点に注意し、必ず一度やかんなどで沸騰させてからにしてください。



- ・必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。
- ・熱いお湯が出てくるまでの水（配管内にたまっていた水）は、雑用水としてお使いください。
- ・固形物や変色・にごり・異臭などがあった場合は、飲用には使用せずに、直ちに点検の依頼を行ってください。



注意

意

安全上のご注意

ご使用上の注意



確認

- 本体より低い場所への給湯および給湯ポンプの接続などで、本体が負圧にならないか、施工説明書の「負圧注意事項」を参考に確認ください。負圧になるとタンクが変形して漏水が発生し二次災害になる恐れがあります。



確認

- 中高層集合住宅の高架水槽の清掃などで、断水の連絡があったときは止水栓を閉めてください。お湯が止水栓側に逆流したり負圧によりタンクが破損する恐れがあります。



確認

- 工事または断水等で止水栓を閉じる場合、止水栓を閉じる時間が8時間を超える場合は、電源スイッチを「OFF」して沸き上げを停止し、お風呂に給湯するなどしてタンク内のお湯を水にしてください。タンクが負圧になり破損する恐れがあります。

●契約している電力料金メニューを確認する

契約している電気料金メニューによってご利用いただけない機能があります。

●深夜時間帯のご使用について

温水器は、深夜時間帯にお湯を沸かすのが基本です。この時間帯にお湯をたくさん使うと、次の日使えるお湯の量が減少し、お湯切れする場合があります。深夜時間帯は、電気料金メニューによって異なります。



●お湯を上手に使う

1日に使用できるお湯の量は限りがあります。お湯の使いすぎに注意してください。流しっぱなしで使用せず、こまめに止めましょう。

- ・シャワーは止めながら（髪を洗っているときは止めましょう）
- ・洗いものをすするときも止めながら

●リモコンの時刻を確認する（時間帯別電灯契約等）

月に1度はリモコンの時刻を確認、修正してください。

時刻がずれていると、お湯を沸き上げるとき、ずれた分の時間は電気料金の高い昼間電力を使用するため、電気料金が割高になります。

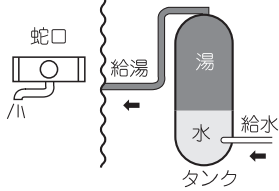


各部のなまえとはたらき

温水器の仕組み

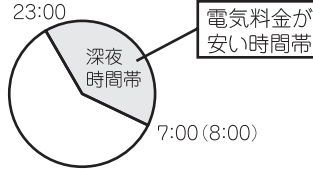
1.自動給水・押し上げ方式です。

蛇口をひねると、タンク内のお湯は給水水圧によって押し上げられ、タンク上部の給湯口より給湯配管を通して自動的に採湯することができます。使用したお湯の分だけの水が、給水口より水道水圧を利用して自動的にタンクに供給されますので、タンク内は常にお湯（水）で満たされています。



2.主に、夜間に沸き上げを行います

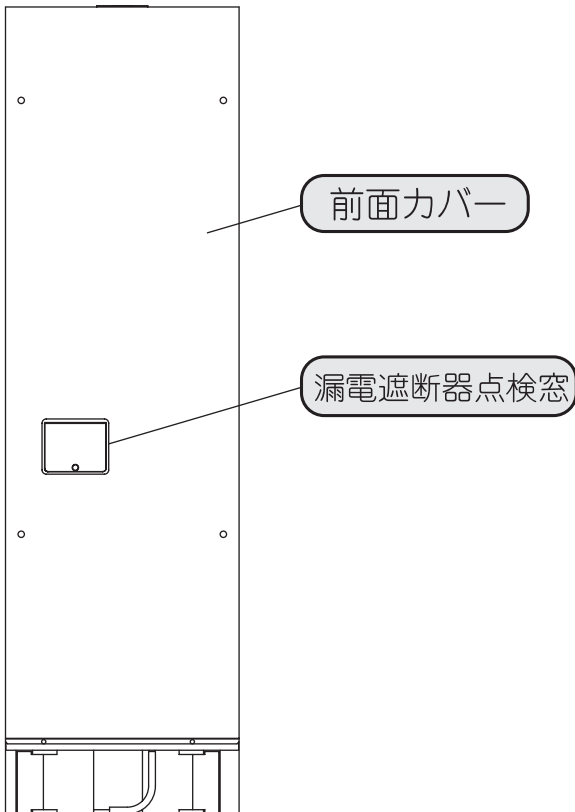
割安な深夜電力を利用して、タンク内のお湯を沸き上げます。深夜時間帯は、電気料金メニューによって異なります。



3.タンク貯湯式です

沸き上げたお湯をタンクに貯湯し、蛇口にて水と混合させて設定温度での給湯を行います。そのため、タンク内のお湯を使いすぎると湯切れすることがあります。

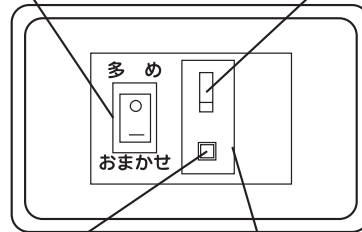
本体外観図



漏電遮断器点検窓内部

マイコン型リモコンレスタイプ

湯温切替スイッチ 電源スイッチ



テストボタン

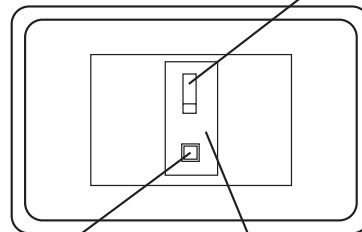
ボタンを押して漏電遮断器の作動を確認するものです。

漏電遮断器

万一漏電した場合、自動的に電源を切り、感電事故を防止します。

マイコンレスタイプ

電源スイッチ



テストボタン

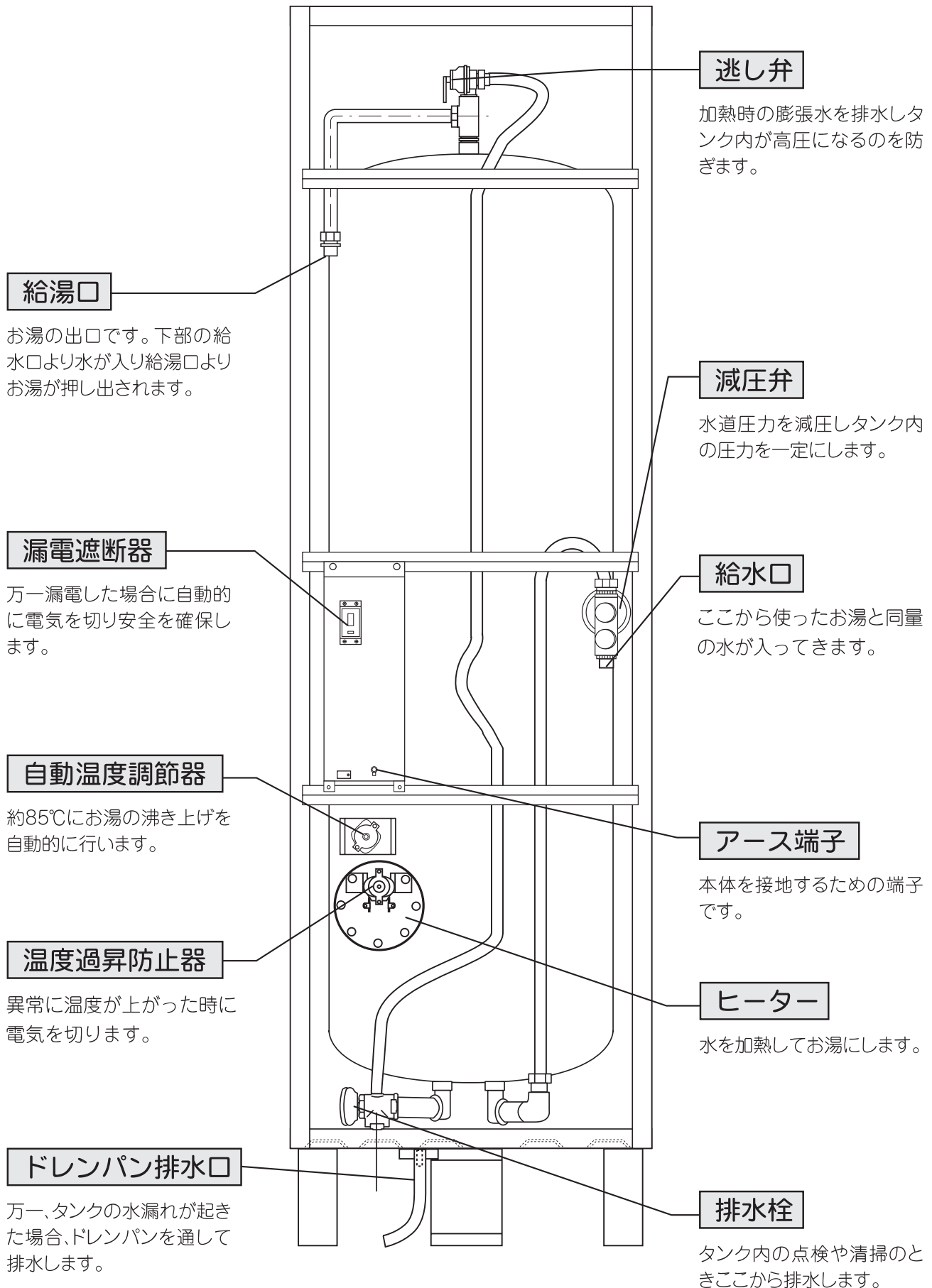
ボタンを押して漏電遮断器の作動を確認するものです。

漏電遮断器

万一漏電した場合、自動的に電源を切り、感電事故を防止します。

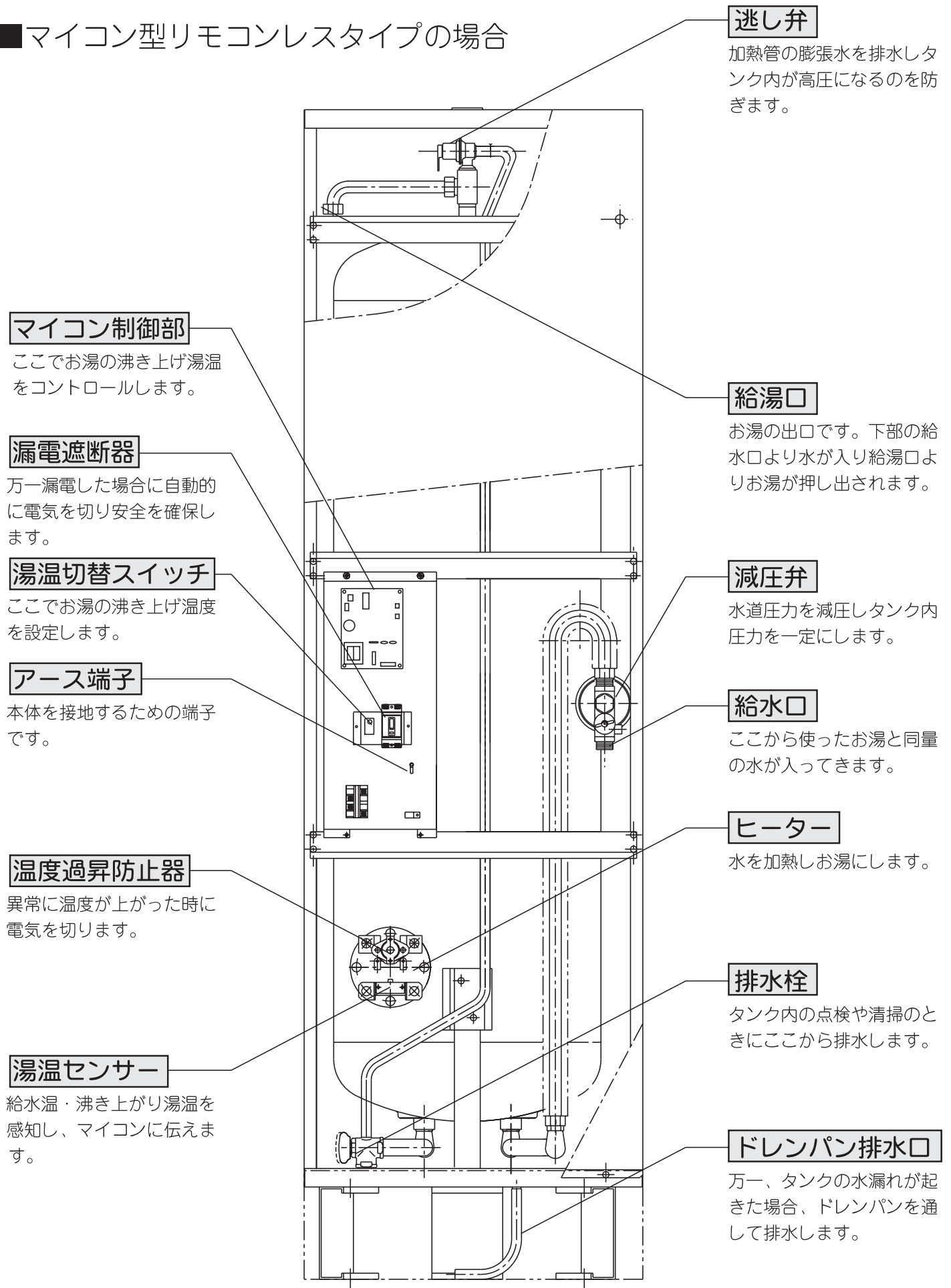
各部のなまえとはたらき

■マイコンレスタイプの場合



各部のなまえとはたらき

■マイコン型リモコンレスタイプの場合



各部のなまえとはたらき

リモコンの操作部（別売品）

台所リモコン

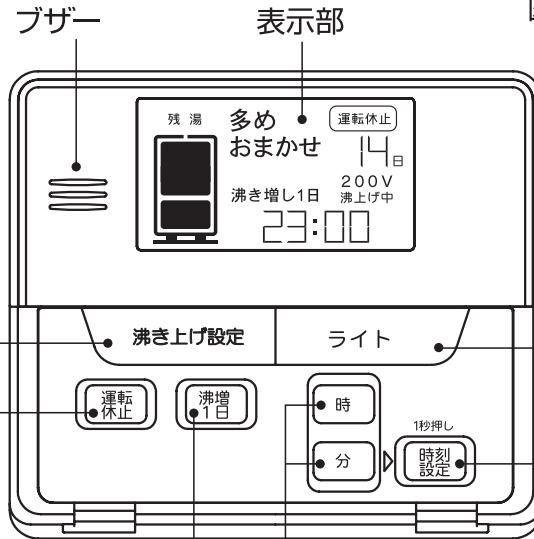
台所リモコンの使い方(→11ページ)

図はカバーを開いた状態です。

沸き上げ設定スイッチ
●沸き上げ設定ができます。
(→12ページ)

運転休止スイッチ
●数日間お湯を使用しないときに温水器の運転を停止することができます。
(→13ページ)

沸き増しスイッチ
●沸き増しの設定ができます。
(→14ページ)



ライトスイッチ
●液晶部のバックライトを約10秒間点灯させます。
(→15ページ)

時刻設定スイッチ
●時刻の設定ができます。
(→11ページ)

時・分スイッチ
●時刻変更時に時・分を変更できます。
(→11ページ)

表示部

●通常時の表示 (説明のため、画面は必要な箇所を表示しております)

沸き上げ設定表示
●設定されている沸き上げ設定が点灯します。

残湯量表示
●残湯量を表示します。

[残湯量の表示内容]
タンク容量によって、目安となる残湯量が異なります。

残湯表示	タンク容量別 残湯量の目安 (48℃以上)	
	150L	200L
	50L未満	
	50L以上	
	100L以上	



運転休止表示
●温水器の運転を休止する日数を表示します。

200V電源表示
●ヒーター電源用200Vが供給されているときに点灯します。

沸き上げ中表示
●タンク沸き上げ中に点灯します。

現在時刻表示

沸き増し表示
●沸き増しを設定しているときに表示します。
(→14ページ)

お願い

●台所リモコンは防水タイプではありません。水をかけないでください。故障の原因になります。

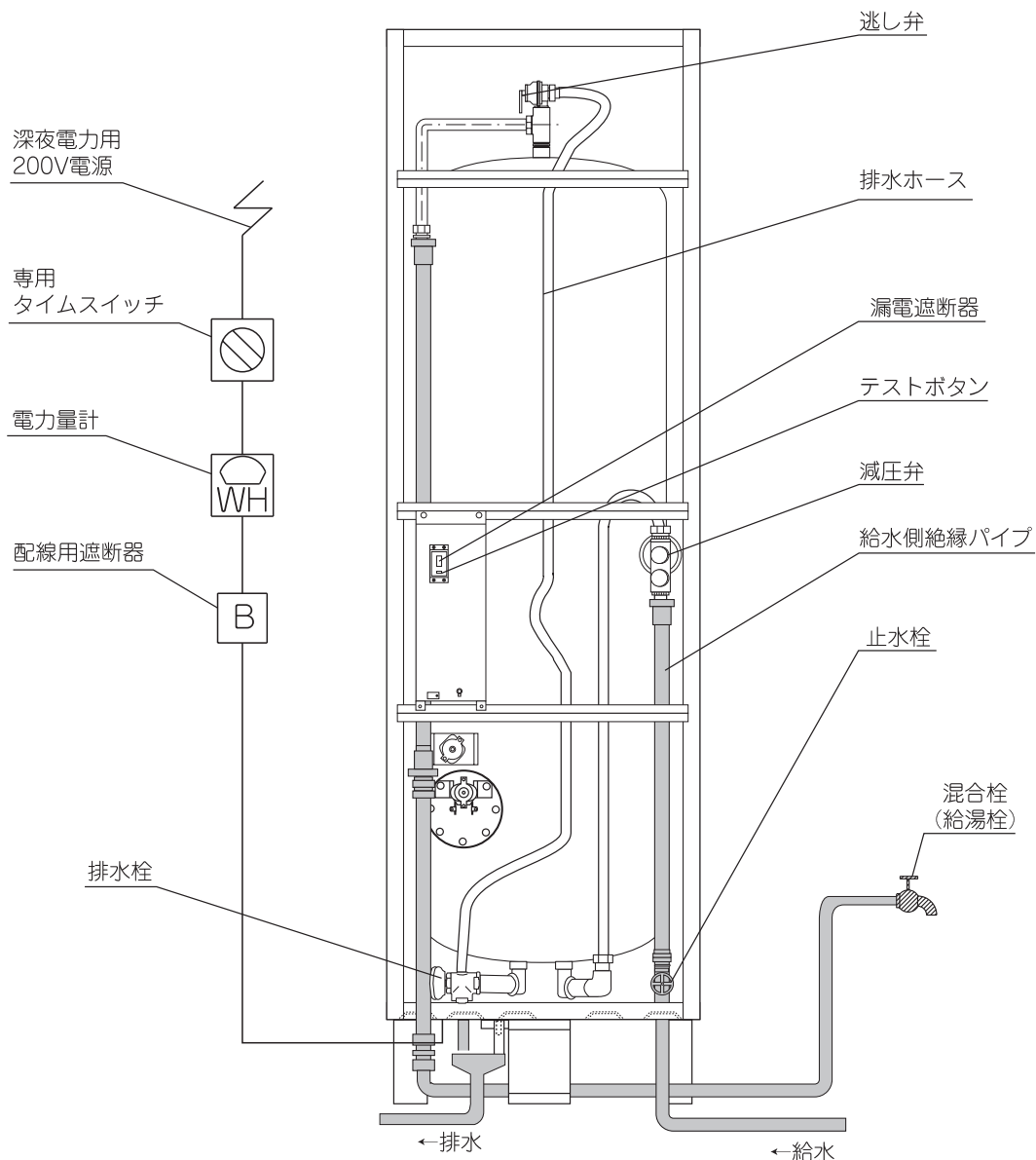
お知らせ

- 台所リモコンは別売です。
- 深夜電力B契約でご使用の場合は、現在時刻の設定と表示および沸き増し設定ができません。
- お湯切れ防止のために使用状況に応じて「沸き増し」の設定を行なってください。

使用前の準備

温水器への給水

1. 排水栓が閉まっていることを確認します。
2. 止水栓、給湯栓（混合栓のお湯側）を開けます。
（満水まで約20～30分かかります。）
3. 給湯栓から水が出てくれば満水です。
4. 給湯栓を閉じます。



お願い

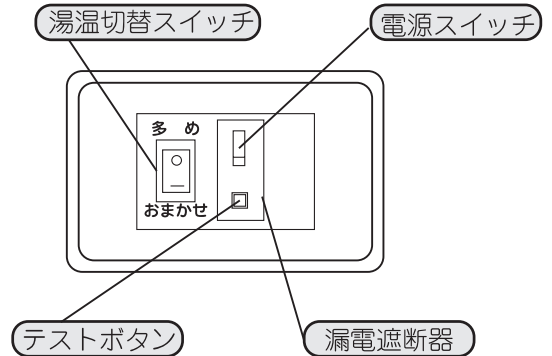
- ・ 温水器の止水栓を開いてすぐに水が出てきても、配管内の残水が出てきた可能性がありますのでしばらく給水してください。
- ・ 最初はタンクや配管内のゴミ・油などを洗い流すため、満水になったら一度、全部排水し、再び給水してください。

ご使用のしかた

温水器への通電

1. 温水器への給水が完了したことを確認した後、漏電遮断器点検窓のネジをゆるめ点検窓を開けます。
2. 漏電遮断器の電源スイッチを「ON」にします。
3. 沸き上げ温度を設定する。
リモコンをご使用のお客様はリモコンで設定を行ってください。(P12)
リモコンをご使用でないお客様は本体操作部で行ってください。(P17)
4. 夜間の通電時間になると自動的に通電され翌朝にはお湯が沸いています。

マイコン型リモコンレスタイプ



⚠️ 注意

❗ 点検窓は操作完了後、確実に閉じておいてください。

閉じ方が不完全な場合雨水が浸入して感電や機器が故障する恐れがあります。

📌 ご注意

23:00以降にお湯を使うと設定温度まで沸き上がらない場合があります。また、厳冬期や残湯量が少なく水温が低い(約10℃以下)ときも設定温度まで沸き上がらない場合があります。

お湯のご使用

- やけど防止のため、湯水混合栓の温度調整つまみを「水」側にしてから給湯つまみを開き適温に調節してからお使いください。(2ハンドル混合栓の場合、まず水側を開けた後に、湯側を開けて温度を調節してください。)

⚠️ 警告

お湯だけで使用しますと、やけどをしたり、流し台をいためる場合があります。

⚠️ 注意

❗ 中高層集合住宅の高架水槽の清掃などで、断水の連絡があったときは止水栓を閉めてください。止水栓を閉じる時間が8時間を超える場合は、電源スイッチを「OFF」して沸き上げを停止し、お風呂に給湯するなどしてタンク内のお湯を水にしてください。

お湯が給水側に逆流したり負圧によりタンクが破裂する恐れがあります。

お湯の上手な使い方

- 一日に使用できる湯量は限りがあります。特に冬期は水温も低くムダな使い方をしますと、湯量不足になるので上手に使ってください。
- ムダなお湯を沸かさないようにすると経済的です。お湯の使用量に見合った沸き上げ湯温の設定をしてください。
- 湯温設定は、翌日のお湯の使用量を考えて設定してください。湯温の設定方法は「操作部の使い方」を参照ください。

- 通電時間中に大量のお湯を使用しないでください。翌日の湯温が低くなる恐れがあります。



- 入浴は家族が連続して入るようにしましょう。



- 炊事での流し洗いは避け、容器に受けて使いましょう。



- お風呂のたし湯は浴槽内の湯を減らしてから行ってください。



操作部の使い方 (リモコン操作タイプ)

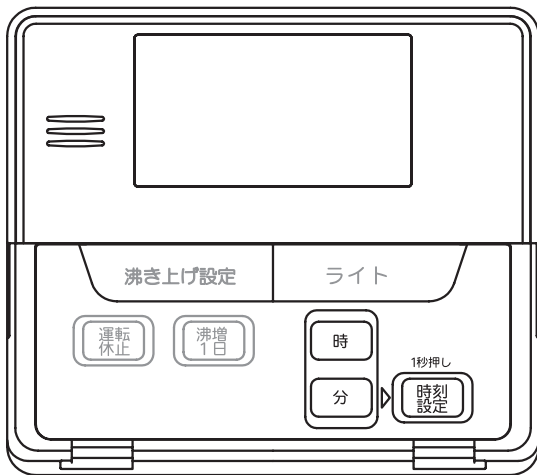
「マイコン型リモコンレスにリモコン (別売品) を取付けた場合」 時計を合わせる

温水器のお湯を沸かすために時刻を合わせます。
時刻を設定しないと、沸き上げできない場合があります。
また、時刻が合っていないと、電気料金が割高になる場合があります。

お知らせ

- 深夜電力B契約でお使いの場合は、時計表示および時刻設定はありません。

台所リモコン

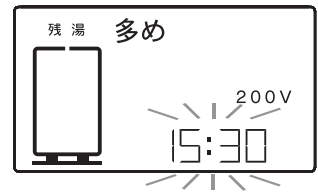


1 通常時の表示のときに
時刻設定 を1秒以上押す



時刻表示が点滅します

<表示内容>



2 時 分 を押して時刻をあわせ



時 を押すと”時”が繰り返り上がります



分 を押すと”分”が繰り返り上がります



それぞれを合わせたあとに

時刻設定 を押す



時刻表示が点滅から点灯にかわり設定完了です。

お願い

- 時計の精度は、月差で約1分間です。時刻が進んだ場合や遅れた場合は、時刻を合わせ直してください。正しく合わせても大幅に時刻がずれてしまう場合は、販売店 (据付工事店) にご連絡ください。
- 約2日間以上停電があった場合や電源を「OFF」にしていた場合、表示部は「00:00」が点滅する場合がありますので、必ず時刻を合わせ直してください。

お知らせ

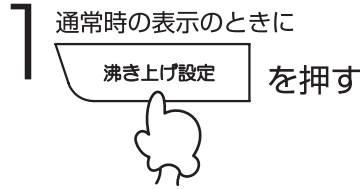
- 時刻は24時間表示です。昼の12時の場合は「12:00」を夜の12時の場合は「0:00」を表示します。
- スイッチが10秒以上押されないときは、通常時の表示に戻ります。

操作部の使い方 (リモコン操作タイプ)

沸き上げ設定のしかた

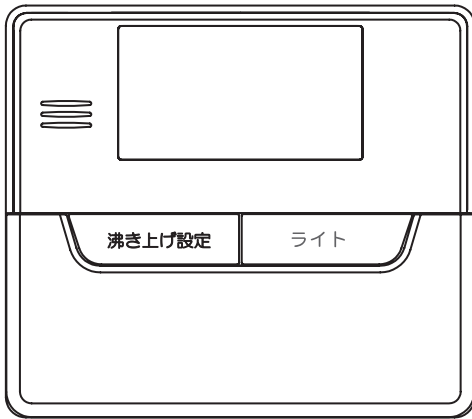
温水器が夜間に沸き上げを行なうモードを設定します。

お買い上げ時の設定……多め
設定できるモード……多め／おまかせ



押すごとに、温水器の沸き上げ設定表示が切り換わります。

台所リモコン



沸き上げ設定	沸き上げ温度目標	動作内容
多め	約90℃ ^{※1}	約90℃でお湯を沸き上げます。
おまかせ	約60℃～約90℃ ^{※1}	給水温度と過去1週間のお湯の使用湯量から翌日の使用湯量を計算(学習値)し、約60℃～約90℃に沸き上げます。

※1 給水温が低いときなどは、沸き上げ温度目標まで沸き上げができないことがあります。

お願い

- 沸き上げ設定「おまかせ」でご使用の場合、来客などでお湯をたくさん使用することが予測される時は、前日に沸き上げ設定を「多め」に設定してください。
- お湯が足りなくなったときは、沸き増し(→14ページ)をご利用ください。
- 「おまかせ」設定で頻繁にお湯が足りなくなるときは、沸き上げ設定を「多め」に設定してください。

お知らせ

- 湯温の目安は、沸き上げ直後のタンク内の湯温です。湯温設定に対して2～3℃ばらつくことがあります。また、湯温は時間の経過とともに少しずつ(1時間に約0.5℃～1℃)低下します。

操作部の使い方 (リモコン操作タイプ)

運転を休止する

旅行などで数日間お湯を使用しないときに、温水器の運転を休止させることができます。

お買い上げ時の設定……0日

設定できる範囲……1日～14日(1日刻み)、---日(連続)

運転休止日数のきめ方

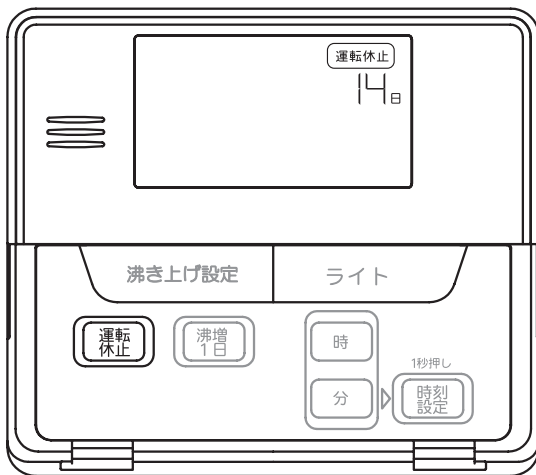
例) 10月1日に出発し、10月4日に帰宅する3泊4日の旅行の場合

3泊4日の旅行

出発日(10月1日)に休止日数 $3-1=2$ を設定

帰宅日(10月4日)には、朝からお湯が使用できます。

台所リモコン

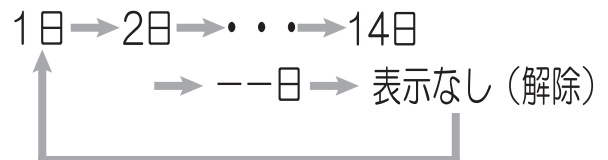


<設定方法>

1 通常時の表示のときに



表示部に運転休止日数が表示されます。
押すごとに、運転休止日数が増えていきます。



<解除方法>

1 解除するときは



表示なしに設定して下さい。

お知らせ

- 「休止日数」が設定されると台所リモコンに「運転休止」の文字と日数が表示されます。
- 表示の日数は7時に1日減らしていきます。
- 設定した休止日数の表示がなくなると運転を再開します。
- 休止日数を設定した状態では、沸き増し設定を受け付けません。

お願い

- 1か月以上、温水器を使用しないときは、長期間使用しないときの操作を行なってください。(→18ページ)

操作部の使い方 (リモコン操作タイプ)

沸き増し設定のしかた

沸き増しとは、急な来客などで普段以上にお湯を使うようなときに、温水器内のお湯を沸き上げ、湯切れを防止する機能です。

お知らせ

- 深夜電力B契約でお使いの場合は、沸き増し機能はご利用できません。
(「沸き増し」スイッチ操作を受け付けません。)
- 深夜時間帯以外で沸き増しを行なうと、電気料金が割高になります。

沸き増しのしくみ

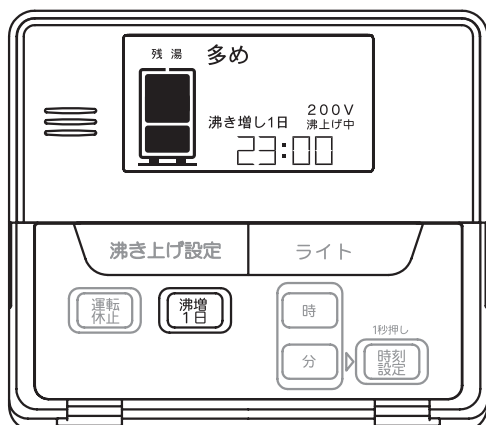
動作内容	解除方法
設定した1日間は、常に貯湯タンクがお湯で満タンになるように、沸き増しを行ないます。	手動での解除を行なうか、翌朝7時(8時)になると解除されます。

沸き増しを設定する

お買い上げ時の設定……切

設定できるモード……1日/切

台所リモコン



<設定方法>

- 1 通常時の表示のときに「沸増1日」を押す



表示部に「沸き増し1日」が表示されます

<解除方法>

- 1 通常時の表示のときに「沸増1日」を押す



表示部の「沸き増し1日」が消灯します

お知らせ

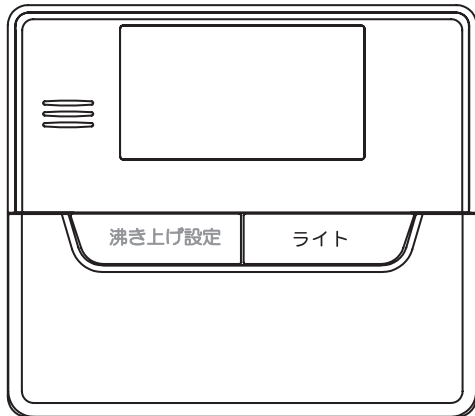
- 沸き上げ中は、台所リモコンの表示部に「沸上げ中」が表示されます。

操作部の使い方（リモコン操作タイプ）

バックライトの点灯のしかた

リモコンのバックライトを点灯し、暗いところでも表示の確認ができます。

台所リモコン



バックライトが点灯します。

お知らせ

- 点灯時間は約10秒です。
- 各種設定を行なうときにも自動的に点灯します。
- バックライト点灯は充電方式です。
- 連続して長くバックライトを点灯すると、明るさが暗くなったり点灯しなくなることがありますが、充電を完了すると元の明るさに戻ります。
- 深夜電力B契約でご使用の場合は、深夜電力が供給されると充電を開始します。

操作部の使い方 (リモコン操作タイプ)

故障表示

- 運転休止の日数部を点滅させて温水器の異常を知らせます。
- 故障表示がされた時は、運転休止設定は行えません。
- 故障表示がされた時は、温水器が異常ですので、販売店（工事店）にご連絡ください。

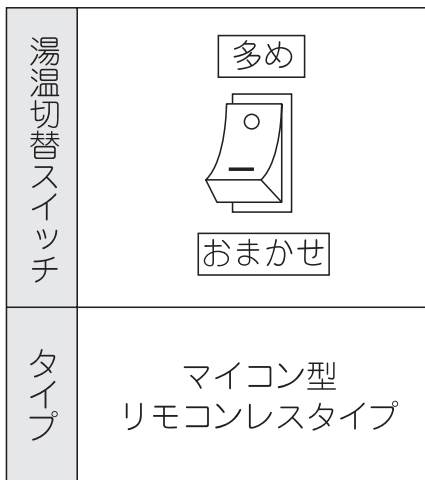
点滅数字	異常内容	処置方法
01	給水温センサー部回路の異常	お湯の沸き上げをしません。 販売店（工事店）にご連絡ください。 （修理が終われば自動的に表示は消えます。）
02	残湯50Lセンサー部回路の異常	お湯の沸き上げはしますが、修理が必要です。 販売店（工事店）にご連絡ください。 （修理が終われば自動的に表示は消えます。）
03	残湯100Lセンサー部回路の異常	お湯の沸き上げはしますが、修理が必要です。 販売店（工事店）にご連絡ください。 （修理が終われば自動的に表示は消えます。）
04	無給水での通電 無給水センサーの異常	お湯の沸き上げをしません。 販売店（工事店）にご連絡ください。 温水器が満水になっているか確認してください。 （修理が終われば、午後11:00になると自動的に表示は消えます。）
09	200V電源異常 （200V電源が17時間以上通電されないとき。）	漏電遮断器、配線用遮断器がOFFになっていないかご確認ください。 OFFの場合はONにしてください。 （200V電源が通電されると自動的に表示は消えます。）
11	本体～リモコンの通信異常	お湯の沸き上げはしますが、修理が必要です。 販売店（工事店）にご連絡ください。 （修理が終われば自動的に表示は消えます。）
12	漏水検知※1 （漏水センサーが漏水を検知したとき。）	タンク内で漏水していないかご確認ください。 お湯の沸き上げはしますが、修理が必要です。 販売店（工事店）にご連絡ください。 （修理が終われば自動的に表示は消えます。）

※1 漏水検知は、別売品の漏水センサーを取り付けている場合のみ発報します。

操作部の使い方 (リモコンレスタイプ)

湯温切替スイッチの使い方

点検窓カバー内にある下図の湯温切替スイッチを切替えることで、下表のように沸き上げることができます。



設定	沸き上がり温度
多め	約90℃
おまかせ	約60℃～約90℃

凍結防止対策について

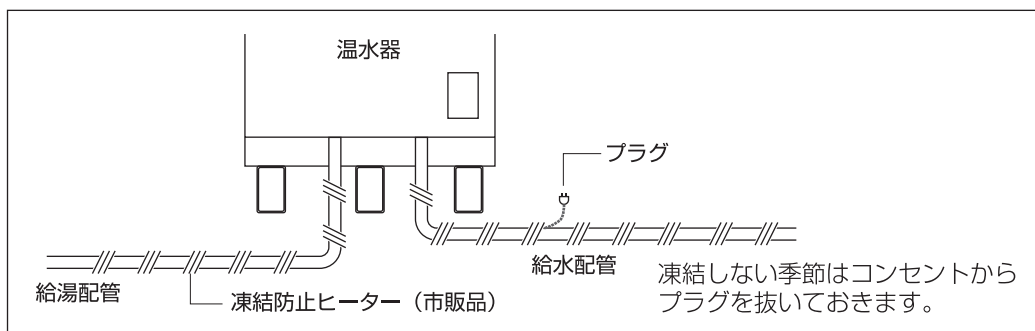
- 冬期は寒冷地だけでなく、温暖な地域でも思わぬ寒波で気温が0℃以下になることがあります。配管が凍結すると電気温水器が使えないばかりか、減圧弁・逃し弁の破損、場合によってはタンクが破損することもあります。したがって、凍結事故を防ぐため地域の気候条件にあった凍結防止策をおこなってください。
- 凍結防止には、次の方法などが考えられますがどの凍結防止対策が施工されているか、およびその操作方法についても販売店（工事店）に確認してください。

凍結防止ヒーター（市販品）を使う

凍結防止ヒーターが図のように巻かれているか確認します。使用するときは、すべてのプラグをコンセントに差し込みます。

⚠ 注意

凍結防止対策の確認をする
凍結するとタンクや配管が破裂して、
水漏れでやけどをすることがあります。



上手な使い方

蛇口からお湯を少しずつ
(雫が落ちる程度)出湯すると
配管の凍結を防止できます。



お願い

- 配管が凍結した場合は、気温の上昇により自然解凍されるまでお待ちください。
- 配管の破裂・水漏れがある場合は温水器専用止水栓を閉じて販売店（据付工事店）へご連絡ください。

こんなときは

この作業は前面カバーを開けての作業ですので、販売店またはサービス店に依頼してください。

9 ページの図を参考に操作ください。

<p>1 ヶ月以上の長期間使用しないときはタンク内の水を抜いてください。</p>	<p>1 ヶ月以内の短期間使用しないとき。</p>
<p>警告 ① タンクの熱湯排水は直接しないでください。1 度お風呂に給湯し、タンク内が水になってから排水ください。</p>	<p>(1) 別売リモコンを使用されている場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 運転休止予約設定を設定してください。詳しくは 13 ページをお読みください。
<ul style="list-style-type: none"> ● 熱湯を直接排水すると、やけどをすることがあります。 ● 排水管が熱で変形する場合があります。 ● タンクが負圧になり破損することがあります。 	<p>(2) 別売リモコンを使用されてない場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 配線用遮断器と漏電遮断器（電源スイッチ）を「OFF」にしてください。
<p>排水の手順は前面カバーを外して次のとおりです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 配線用遮断器と漏電遮断器（電源スイッチ）を「OFF」にしてください。 2. 止水栓を閉じてください。 3. 給湯栓を開いてください。 4. 逃し弁のレバーを上げてください。 5. 排水栓を開いてください。 	<p>注意 ① 止水栓は閉めないでください。</p> <p>タンクが負圧になり破損することがあります。</p>
<p>再度ご使用のとき</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 別売リモコンを使用されている場合 ● 運転休止予約設定を解除してください。詳しくは 13 ページをお読みください。 	<p>再度ご使用のとき</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 別売リモコンを使用されている場合 ● 運転休止予約設定を解除してください。詳しくは 13 ページをお読みください。
<p>警告 ① やけどに注意ください。</p> <p>熱湯が出る恐れがあります。</p>	<p>[時間帯別設定の場合]</p> <p>リモコンの時刻表示を現在時刻に正しく設定してください。</p>
<ol style="list-style-type: none"> 6. 排水後は、給湯栓を閉じてください。 7. 逃し弁のレバーを下げてください。 8. 排水栓は開いたままにしてください。 	<p>(2) 別売リモコンを使用されてない場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 配線用遮断器と漏電遮断器（電源スイッチ）を「ON」にしてください。
<p>ご注意</p> <p>排水配管の延長などで排水ができない場合、逃し弁ホースを逃し弁から抜くと排水できるようになります。排水後は、必ず逃し弁ホースを元の逃し弁に挿し込んでください。</p>	<p>ご注意</p> <p>凍結の恐れがあるときは、1 ヶ月以内使用しないときでも 17 ページの「凍結防止対策について」を参考に凍結防止対策を実施してください。</p>
<p>再度ご使用のとき</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 9, 10 ページの「温水器への給水」及び「温水器への通電」項に準じてください。 	
<p>注意 ① 通電はタンクを満水にしてから行ってください。</p>	
<p>過熱して機器が故障する恐れがあります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 2. 配線用遮断器と漏電遮断器（電源スイッチ）を「ON」にしてください。 <p>以上の操作で翌朝にはお湯が使用できます。</p>	

日常のお手入れと点検

1. 漏電遮断器の動作確認

⚠️ 警告 **❗** 漏電遮断器の動作を年に2~3回は確認してください。

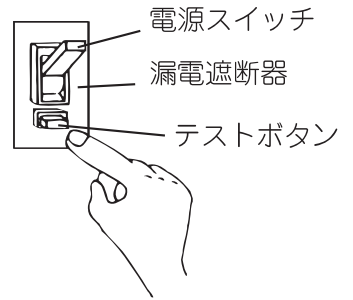
漏電遮断器が故障のまま使用すると漏電のときに感電する恐れがあります。

1. 通電時間帯に漏電遮断器のテストボタンを押して、電源スイッチが「OFF」になることを確認ください。（「OFF」にならない場合は販売店（工事店）へご相談ください）

2. 動作確認後、必ず電源スイッチを「ON」にしてください。

3. 漏電遮断器点検窓を確実に閉じてください。

（閉じ方が不完全な場合雨水が侵入して感電や機器が故障する恐れがあります）



2. 逃し弁の点検

⚠️ 注意 **❗** 逃し弁を年に2~3回は点検してください。

この操作を怠りますと、タンクが破損したり、逃し弁などからの水漏れにより、やけどや大きな被害につながる可能性があります。

⚠️ 警告 **🚫** 逃し弁の点検時は排水管・排水ホースに手を触れないでください。

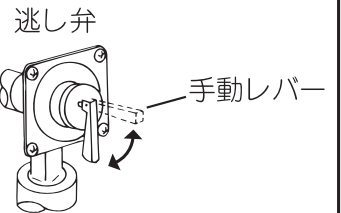
やけどする可能性があります。

1. 手動レバーを持ち上げて、排水することを確認ください。

2. 手動レバーを下げて、排水が止まることを確認ください。

排水が止まらないときは、ゴミをかんでいることがあります。レバーを上げ下げしてゴミを流してください。

（排水が止まらない場合は販売店（工事店）へご相談ください。）



3. 減圧弁ストレーナの清掃

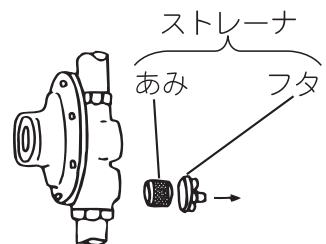
この作業は前面カバーを開けての作業ですので、販売店（工事店）に依頼してください。

減圧弁内蔵のストレーナに、ゴミなどの異物が付着しますとお湯の出が悪くなりますので、ときどき取り外して清掃ください。

1. 止水栓を閉じます。

2. ストレーナのフタを外し、あみを洗います。

3. 元のとおり組み込んで、止水栓を開きます。



ご注意

作業時に配管内の水が流れますので床面にこぼさないようバケツ等で受けてください。

床面に防水処理がされていない場合は二次災害の恐れがありますので販売店（工事店）へご相談ください。

日常のお手入れと点検

4. タンク内の清掃

使用中タンク内底部に湯あかや沈殿物がたまりまますので年に2～3回は清掃してください。
清掃の手順は次のとおりです。

警告 ① タンクの熱湯排水は直接しないでください。1度お風呂に給湯し、タンク内が水になってから排水ください。

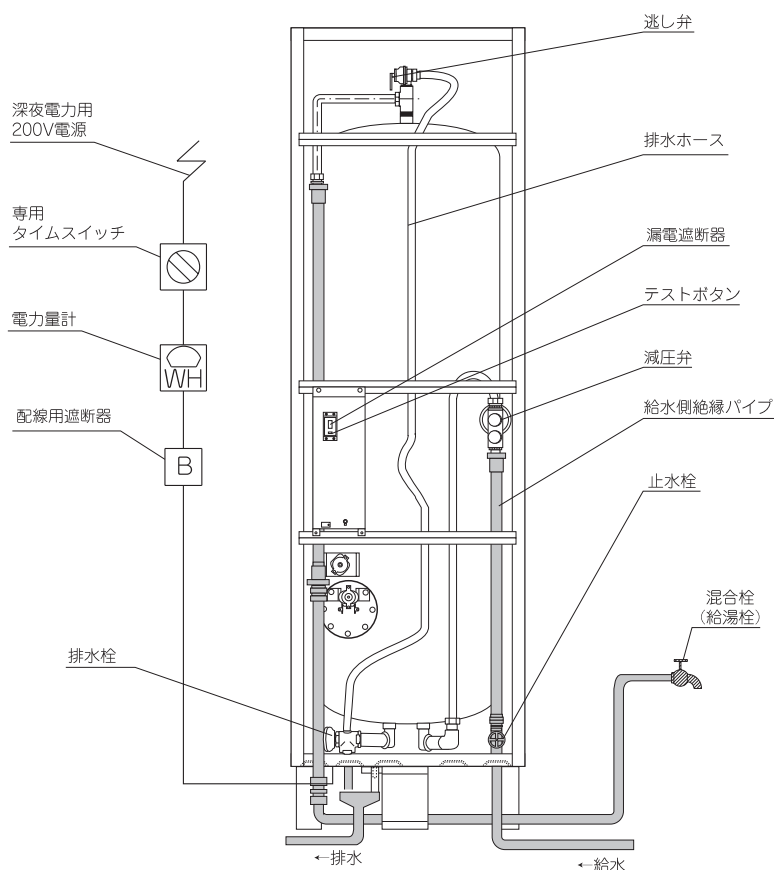
- やけどをすることがあります。
- 排水管が熱で変形する場合があります。
- タンクが負圧になり破損することがあります。

1. 配線用遮断器と本体漏電遮断器のレバーを「OFF」にしてください。
2. 止水栓を閉じてから逃し弁のレバーを上げ、給湯栓を開いてください。

警告 ② やけどに注意ください。

熱湯が出る恐れがあります。

3. 排水栓を開いてください。タンク内の水をすべて排水（約30～40分かかります）してください。
4. 排水栓を閉じ、止水栓を2～3分間開き、止水栓を閉じ、排水栓を開く。この操作を繰り返し排水される水ににごりがなくなるまで行ってください。
5. 排水栓を閉じ、逃し弁のレバーを下げ、止水栓を開いてください。
6. 給湯栓から水が出てくれば満水ですので給湯栓を閉じてください。
7. 配線用遮断器と本体漏電遮断器のレバーを「ON」にしてください。



故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に

● 次のような現象のときは、サービスマンを呼ぶ前にご確認ください。

現象	ご確認事項	処置方法
1.お湯が出ない (お湯の出方が少なく) なった	■断水ではありませんか。	断水が終るまで待ってください。
	■止水栓を閉じていませんか。	開いてください
	■減圧弁ストレーナに異物詰まりしていませんか。	ストレーナの清掃をしてください。(19ページ参照)
	■配管が凍結していませんか。	とけるまで待ってください。
2.お湯が沸かない	■配線用遮断器及び漏電遮断器が「OFF」になっていませんか。	「OFF」になっているときは「ON」にしてください。
	■時計表示が「00:00」で点滅していませんか。	時刻を設定してください。
3.お湯がぬるい	■沸き上げ湯温の設定に誤りはありませんか。	操作部の使い方 (12、17ページ参照)
	■お湯を使いすぎていませんか。 ■深夜電力通電中にお湯を使っていませんか。	お湯の上手な使い方 をしてください (10ページ参照)
4.汚れたお湯が出る	■断水や水道工事はありませんでしたか。	清掃してください (20ページ参照)
	■年に2~3回はタンクの清掃をしていますか。	
5.逃し弁から お湯がもれる <small>(沸き上げ中にもれるのは正常です。)</small>	■弁にゴミ等がはさまっていませんか。	逃し弁の点検をしてください。 また、逃し弁・減圧弁は 消耗品です。
6.塩素系消毒液など をお湯を使ってう すめると、液が黒 く濁る。	■電気温水器のヒーター表面はニッケルをめっき しています。水質などによっては微量のニッケル がお湯に溶け、塩素系消毒液などと反応して、ま れに黒く濁ることがあります。	消毒液の使用説明書を よく読んでお使いくだ さい。

● 以上のことをお調べになり、それでも不具合がある場合や不明な場合は、販売店(工事店)にご連絡ください。
保証期間内の場合は保証書をご提示ください。

アフターサービス

点検・修理を依頼される時

- 点検・修理を依頼される時は上記の「故障かな?と思ったら」を見て、もう一度ご確認ください。確認のうえ、それでも不具合がある場合や不明な場合は、ご自分で修理なさらないで、販売店（工事店）にご連絡ください。

点検・修理をお申しつけのときは、次のことをお知らせください。

- 1.型式（電気温水器に貼っている銘板で確認）
 - 2.不具合現象の内容
 - 3.取付年月日
 - 4.お名前・ご住所・電話番号
- 点検・修理の連絡先…販売店（工事店）の名称、住所、電話番号

ご購入年月日	年	月	日
ご購入店名			
または			
工事店名	☎		

お客様へ…ご購入日、販売店（工事店）名を記入ください。

補修用性能部品の保有期間について

この機器の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後最低10年です。

なお、補修用性能部品とは、製品の機能を維持するための部品です。

保証について

- 製品に保証書が同梱されています。
必ず「販売店（工事店）お買い上げ日」などの記入をお確かめになり、保証書の内容をよくお読みのうえ、保管ください。
- 修理を依頼される時は、販売店（工事店）にお電話ください。
保証期間内であれば、保証書の記載内容に基づき修理いたします。
保証期間が過ぎても、修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料にて修理します。

消耗部品について

〈消耗部品〉

逃し弁、減圧弁、ヒーター、リレー、パッキン類

- 劣化により機能の低下や水漏れをする可能性がありますので交換が必要になる場合があります。
なお交換については、販売店（工事店）にご相談ください。

アフターサービス（つづき）

定期点検のおすすめ（有料）

電気温水器を長期にわたり安心して快適にご使用いただくために、定期点検をおすすめします。
(有料)

- 定期的に交換が必要な部品や設置条件や使用条件、特殊環境によって部品交換が必要なものは、有料で交換します。
- お申し込みは、販売店（据付工事店）に申し出ください。

定期点検の主な内容

項目	内容
据付け状態	設置面、配管状態、配管その他の保温処置、電気配線などの確認
機能部品	電気部品（配線、導通、動作の確認）、弁類（減圧弁、逃し弁）などの点検
清掃	タンク内の清掃（沈殿物の除去など） 減圧弁のフィルターの清掃 ヒーターのスケール清掃

仕 様

マイコンレスタイプ

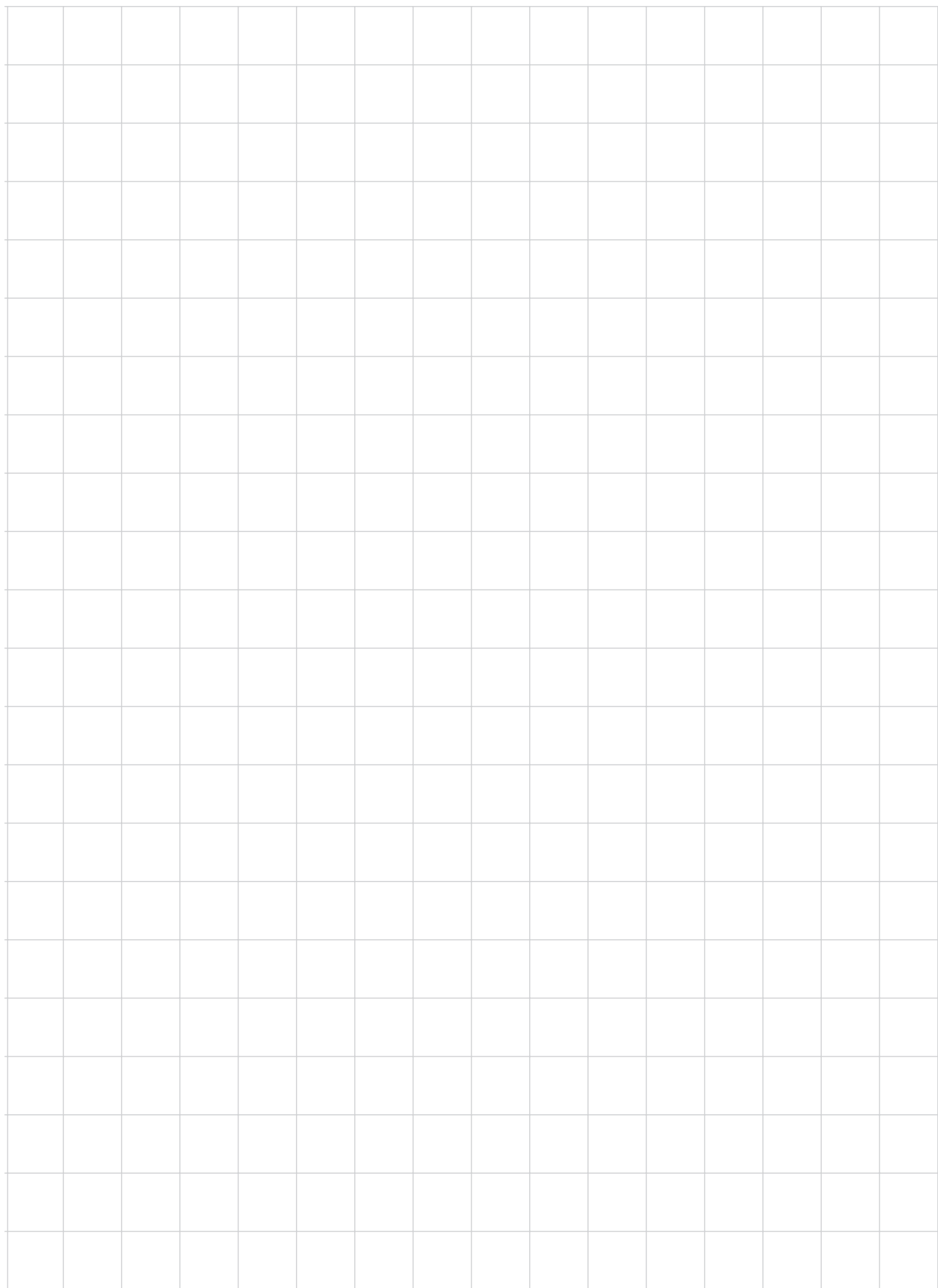
型 式 名		SN2-157K	SN2-207K
タ イ プ		標準圧力型	
設 置 場 所		屋内	
タ ン ク 容 量	L	1 5 0	2 0 0
定 格	電 圧	V 单相 2 0 0	
	電 流	A 1 2	
	消費電力	kW 2.4	
	周 波 数	Hz 5 0 / 6 0	
沸 き 上 が り 湯 温	℃	約 8 5	
外 形 寸 法	高 さ	1 9 0 0	
	幅	4 4 5	5 4 5
	奥 行	5 0 0	
製 品 質 量	本 体	3 9	4 6
	満 水 時	1 8 9	2 4 6
最 高 使 用 圧 力	kPa	95 (減圧弁設定圧 8 0)	

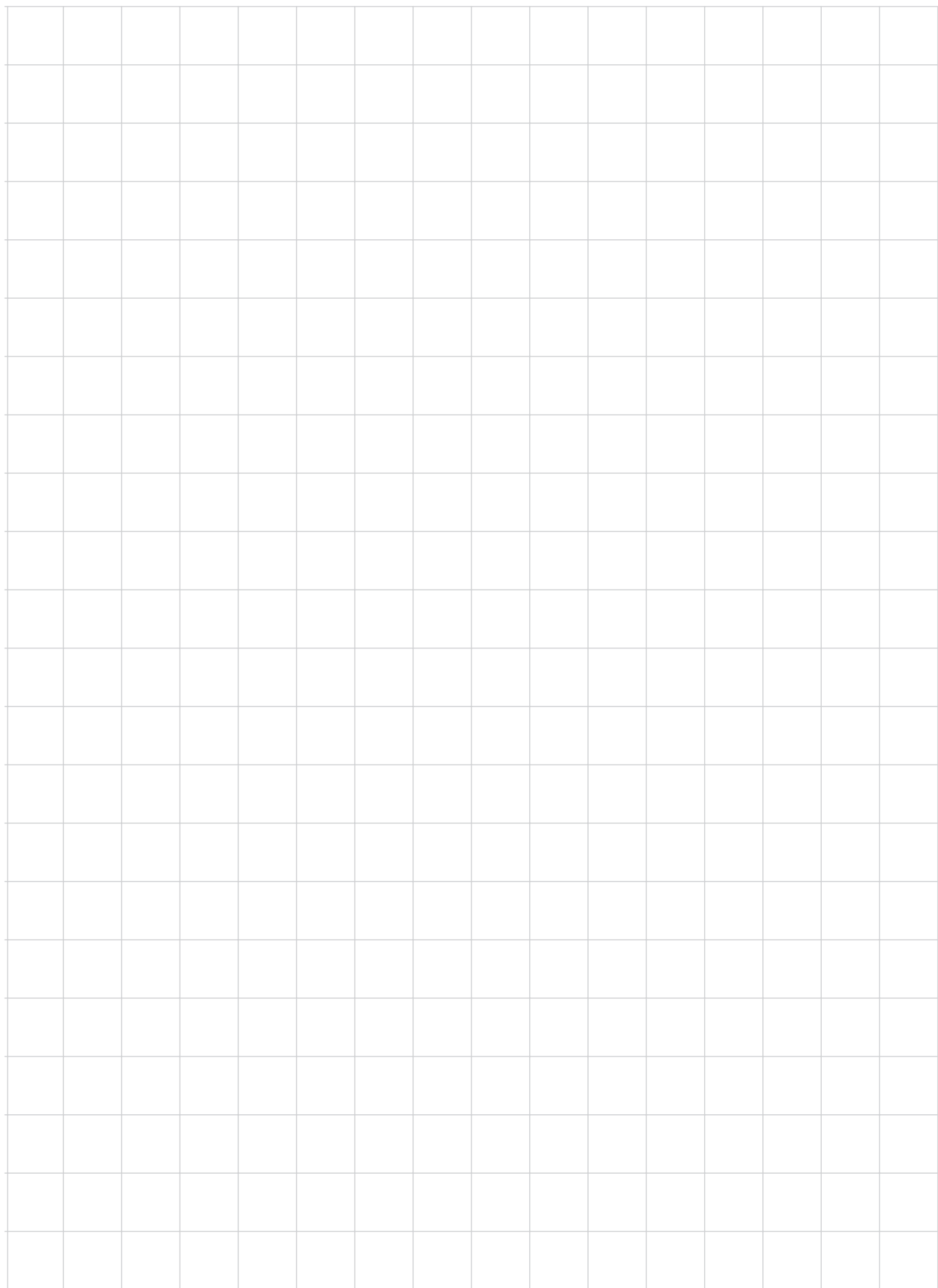
マイコン型リモコンレスタイプ

型 式 名		SN2-159KML	SN2-209KML
タ イ プ		標準圧力型	
設 置 場 所		屋内	
タ ン ク 容 量	L	1 5 0	2 0 0
定 格	電 圧	V 单相 2 0 0	
	電 流	A 1 2	
	消費電力	kW 2.4	
	周 波 数	Hz 5 0 / 6 0	
沸 き 上 が り 湯 温	℃	約 6 0 ~ 9 0	
外 形 寸 法	高 さ	1 9 0 0	
	幅	4 4 5	5 4 5
	奥 行	5 0 0	
製 品 質 量	本 体	3 9	4 6
	満 水 時	1 8 9	2 4 6
最 高 使 用 圧 力	kPa	95 (減圧弁設定圧 8 0)	

ご注意

給水温が低い(10℃以下)の場合は、沸き上げ湯温は設定温度より若干低くなる場合があります。





点検依頼連絡先

店 名

連絡先 TEL

工事店に必ず記入してもらってください。

製 造



四変テック株式会社

SHIHEN TECHNICAL Corporation

フリー
タイヤル  0120-4591-26 しこくいちのみろ

高瀬事業所 〒767-0004 香川県三豊市高瀬町比地200番地の1
中国営業所 〒721-0942 広島県福山市引野町2丁目2-22

☎(0875)72-4300
☎(084)943-7156